

(仮称)つくばみらいスマートインターチェンジ事業 スマートICだより

第4号
令和3年8月発行

ご報告

■(仮称)つくばみらいスマートIC周辺地区における勉強会を開催しました。

令和3年8月8日(日)、つくばみらい市役所谷和原庁舎2階大会議室において、「第1回(仮称)つくばみらいスマートインターチェンジ 周辺地区における土地利用等に関する勉強会」を開催しました。

新型コロナウイルスの感染防止対策等を鑑み、少人数による開催とし、各行政区(古川新田、古川本田、成瀬本田、成瀬新田、加藤)から3名ずつ代表者を選出していただき、計15名の方々と共に、周辺開発に関するご意見等について意見交換を行いました。

■勉強会の内容

以下の1~4の内容をもとに、事務局から説明を行いました。また、スマートICの周辺において、どのような土地利用をこれから進めていくべきかにつきまして、皆様で意見交換を行いました。

- 1) 周辺開発に至る経緯・必要性について
- 2) 令和元年度地元意向調査の集計結果について
- 3) 今後の検討の進め方について
- 4) 面的な土地利用へ向けて市からご協力をお願い

■検討対象エリア (イメージ図)



■勉強会の様子



■勉強会で出た意見（一部抜粋）

- スマートICの完成後、周辺において面的な開発が遅れると、乱開発が進んでしまう可能性があるため、今後のスケジュールは明確化していく必要がある。
- 県道沿いにスマートICの整備や周辺の開発が進むことで、交通量の増加が懸念される。また、歩道のないところや狭い場所もあるので、通学路等の安全対策も含めた道路整備の検討が必要ではないか。
- 農業の担い手もいるので、残された農地が耕作しやすいような道路の整備が必要ではないか。
- インター周辺の開発を進めるのであれば、道路だけでなく、下水道も含めたインフラ整備も必要ではないか。
- スマートICの整備や周辺の開発に伴う、周辺住民へ与える影響も整理する必要がある。



引き続き、地元の皆様と意見交換を行い、周辺開発の検討を進めてまいります。



市からご協力をお願い

将来、スマートICが完成することを想定し、不動産業者が地元の方々と接触している話を伺っております。スマートICの周辺において、個別に開発され、虫食いのような状態になりますと、面的な土地利用を進めていくことが難しくなってしまいます。今後、不動産業者からの接触等がございましたら、プロジェクト推進課へ情報共有をお願いいたします。

今後の予定

■スマートIC周辺開発について、第2回勉強会を実施します。

代表者の方々には引き続き、スマートIC周辺における土地利用などの意見交換に参加していただき、市と共に知見を深めていきながら、開発等の検討を進めていきたいと考えております。また、勉強会にご出席されていない方々につきましても、今後の土地利用につきまして、ご意見やご提案等がございましたら、ご遠慮なくお申し出ください。

次回の勉強会は**10月24日(日)**を予定しておりますので、代表者の方々につきましては、引き続きご出席のほどよろしくお願いいたします。

■スマートIC事業について

スマートIC本体や県道常総取手線の整備事業につきましては、各関係機関において測量や設計を引き続きすすめているところです。その作業で関係機関の職員や委託業者が民有地に立ち入る場合もございますので、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。（事業説明会は、秋以降に開催する予定です）

【問い合わせ先】 つくばみらい市 都市建設部 プロジェクト推進課
TEL 0297-58-2111(内線5503)